

不登校の女子中学生の心の吐露

彼女の家族は、父親 44 歳で会社員。母親は 40 歳、彼女が小学校 1 年生になるまでは会社に勤めていた。歳が離れて、小学校 3 年生の妹と、同じく 1 年生の弟がいる。

彼女は幼稚園を 3 年間過ごして小学校に上がったものの、小学校 4 年生の 2 学期から不登校になる。その時、妹は年中組、弟は 2 歳だった。それでも、5 年生の 1 学期は出席したものの、友達が欲しく声を掛けたら無視され、2 学期は全欠席。3 学期と 6 年生は、保健室登校。5, 6 年の担任は、怖い女性教諭だったと言う。「○○（彼女の名前）ちゃんは、（学校に）来なくていい」と言われた。中学校に上がり、5 年生の時からの友達ひとりが同じクラスになり、4 月は 1 日、5 月は 3 日だけ登校。6 月と 7 月は共に 3 日間だけ別室登校した。その後も 2 学期は 3 日別室登校したが、3 学期からは 2 年生になつても完全に不登校になってしまった。

そして記録を見ると、7 月 13 日、学校からの紹介で母親が相談に来られた。上記の子どもの話になると、涙を流された。育児の失敗と母親失格に苛まれていた。

途中から車の中で待機していた彼女が来られ、早速心理テストを採った。父性（頑固親父性）82（100 点中、以下同じ）、母性（お節介おばさん性）34、知性（コンピューター人間性）75、感性（やんちゃ性）33、順応性（いい子ぶりっこ性）94 だった。

これを、高い信念や理想を持っていて、それを曲げるのが嫌。冷静な判断と適切な方法を取ることから周りから高く評価される。しかし、自分の考えた通りにいかないと、非常に不満になる。心の中で「理想」と「不満」が喧嘩をしてしまう。その上、優しく、いつも他人のことを思いやり、みんなと協調的にやっていこうという気持ちがとても強い。不満があつても他人に八つ当たりしない。他人を責める位なら自分を非難する。気が付いたら落ち込んだり、ストレス潰瘍になっている、と分析した。

時には、心ゆくまで自分の心を開放してあげよう。母性と感性の長所を活かしてストレスを解消しよう。人の目を気にしないで、自分の気持ちに素直になっていい、とアドバイスした。

すると 3 日後、彼女はフォーラムに来て、自分の気持ちを吐露した。以下は、本人の同意の元、録音したものを本人と一緒に書き起こしたものである。

人と話そうと思うと、緊張する。仲間に入りたくても、「嫌われるかもしれない」「迷惑なのかも」と思って、結局ひとりになる。誰かと話をしたり、仲間に入ると、「迷惑な存在」ではないかと思ってしまう。

かれこれ幼稚園くらいからだと思う。上手く話そうと思って弱気になつたり、苦しくなつたりする。

今までひとりでいてもよかつたけど、だんだんそれが辛くなってきた。

自分ひとりでなんとかできないこともあるし、どうしていいか分からない。

自分が全部悪いんだ。周りは何も悪くない。自分といてもつまらないだろう。

すぐに「非」をつくって、何でも溜め込んでしまう。そんな弱い自分が情けなくて涙が出た。

もうひとりで苦しみたくない。自分に「非」をつくっていきたいから、少しでも分かってほしいです。内気になってしまった私のことを。

(まさに分析した通りだった。)

前はよかった。1週間に1回あるかないかの“嫌なこと”だけでいかずに1日に必ず1回くらい“嫌だ”と思うことがあった。

1年生の頃がよすぎて今が不満になっているかもしれない。

だって、熱血で真剣に人の気持ちについて考えてくれる先生とか、考えるよりも行動しようっている団結ある女子とか、考えることがバラバラだけど、人一倍元気な男子とかがいなくなって・・・どうしろっていうのさ・・・まるで太陽のように明るくて毎日笑っていたのに・・・

太陽がなくなっちゃったから・・・心から笑えなくなっちゃった。

先生の授業がへんんだろうと、男子がへんだろうと、バカなことしようと、嫌なことしようと・・・15HRだから許せたのに。15HRだったら3年間ずっと同じ組でもよかった。なんで休んでいたんだろうと。

時間を取り戻したいとも思った。でも、・・・それも終わった前には戻れないから、太陽を探すんだ。

でも、また太陽を見つけるなんて、元気がない。だから、昔に戻りたいとか、休みたいとか、“嫌だ”とか言うんだ・・・

(たった10日の15HR。そんなによかったのに、本人も言うように、なぜ?)

それにまだ前にはチャンスがあった。自分を変えられるチャンスが。それで前より少し変われた。だから、次も・・・というわけにはいかなかった。

もうみんなは前の子たちと同じようにしている。

前の15HRで友達だと思っていた子とも全員別れてしまった。もう太陽を探すどころか、崖に突き落とされた感じだった。

もう変えられないし、帰れない。だから、どうすればいいんだって考えたって、変えられない。じゃあ何すればいいんだよ。頑張ったよ、最初は。でも・・・(中1の3学期から)7カ月くらい経ってからもう無理なんだって分かった、もう・・・あまりにも辛いのに。なのに、一つも変えられないって。心の底から笑えないし、前と違う環境とか、前と違う・・・から?とにかくもう無理なんだ。

小学生のときは“先生が怖い”って嫌になってたけど、母さんが笑ってくれるなら、保健室でもいいなって思ってた。でも、中学生になったら・・・母さんというよりも”自分“の

ことで精いっぱいで・・・「目標」もなかつた。

前にやってたミニ目標は、「5日行ったら2日休み」って感じだった。でも、もう「2,3日行けばいい方だ」って感じになってきた。だって、どんなに頑張っても、また元に戻っていくんだから。

(父性を成長させるカウンセリングで、5日学校に行く「ミニ目標」は達成できる。)

よく自分で理想の世界を創り上げる。特に15HRのような世界を、楽しかった思い出を忘れたくないから。そして、最近勉強とか考えている暇もなく、“学校”について考えてみる。簡単なことかもしれない。「○○(彼女の名前)」にとっては、生きるか死ぬかの判断くらい重要なんだ。行くか行かなかというより、行けるか行けないかという感じに。

夢に15HRのことが出てきたり、深く考えたりいろんなことしていると、「行けない」ってなっちゃうし、ちょっと学校に行ってみたり、勇気をもらったりしていると、「行ける」ってなる。

前のような「行く」っていう自信がなくなったのは、行けた思い出とか、大好きだったものとかが、どこかに飛んで行ってしまったから、辛いんだ。病気とかじゃないように、苦しいんだ、心の底から。・・・自由にどこかへ飛んでいけたら、直るかのか。南の島へ飛んでいけたら、直るのか。直せないんだ。昔から幼稚園でも静かにしてた方だったし、家でも強がっているだけの弱い人間だから、人一倍周りを気にするようになった。もう変えるには高校か社会しかない・・・誰か薬を買ってきてって思っちゃう・・・・

(そうだね、そんなに辛いんだね。でも、こんなに気持ちを吐露できたことで成長したよ。)

約5か月後に彼女は当該中学校に再登校を果たした。